

福島工業株式会社

証券コード:6420

FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第66期中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日

Fukushima 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

トップメッセージ

企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第66期(平成29年3月期)中間の事業活動の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 福島 裕

―上半期の業績について―

当上半期におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くものの、海外経済の減速感が増すとともに、個人消費も足踏み状態となるなど不透明なものとなりました。

当企業集団を取り巻く環境といたしましては、流通業界では、強まる節約志向やネット通販の台頭などから百貨店や総合スーパーなど店舗型の小売企業が苦戦しておりましたが、外食産業ではファーストフード業界が8か月連続で売上が前年を上回るなど堅調に推移いたしました。

そのような経済環境の中、冷凍冷蔵庫事業では、出店意欲の高い外食チェーンの新規出店や改装が増加し、汎用業務用冷凍冷蔵庫の売上が増加するとともに、昨年発売のチップアイス製氷機に引き続き、フレークアイスをラインナップに加え製氷機が充実したことで製氷機の売上が増加いたしました。

ショーケース事業では、コンビニ業界の再編による改装案件が増加したことから、コンビニ向け

ショーケースの売上が増加いたしました。また、インバータ制御の冷凍機内蔵型ショーケースME-2シリーズのラインナップを6機種追加発売したことにより、コンビニ、ドラッグストア向けの売上が増加いたしました。

さらに、エンジニアリング事業では、食品工場向けの設備更新及び増設需要によるトンネルフリーザーの販売が堅調に推移するとともに、低温倉庫や食品加工工場への販売が増加いたしました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比13.2%の増収、営業利益は前年同四半期比9.6%の増益、経常利益は前年同四半期比4.8%の増益、四半期純利益は前年同四半期比4.6%の増益となりました。

―今後の見通し―

当社は今年で65周年を迎えます。これもひとえにお客様をはじめ、株主様と関係各位の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今年度から次の目標へ向けた5か年の中期ビジョンがスタートいたしました。初年度の成績といたしましては最高の滑り出しができたのではないかと思います。今後の課題といたしましては、当社の柱である汎用冷凍冷蔵庫や冷蔵ショーケースの製造・販売だけでなく、畜産・農林や食品加工といった1次産業・2次産業の6次産業化にも力を注いでまいります。また、海外においてはタイ工場及び北京工場での製造・販売を一層強化していき、当社の安心安全技術をASEAN諸国へ広めてまいります。

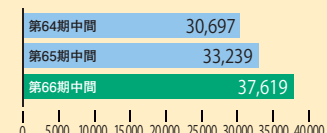
今後も当社の技術力を更に発展させ、冷蔵庫やショーケースといった製品を販売するだけでなく、当社製品を使用してくださるお客様や生活者の皆様へ、当社の製品を通して安心と安全を届けていくことで、社会に貢献できる企業となれるよう、グループ一丸となって精進してまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第66期中間連結決算(単位:百万円)

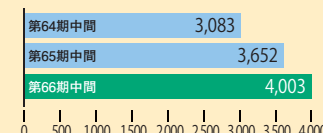
売上高

37,619 前年同四半期比13.2%増



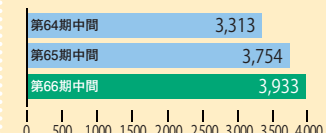
営業利益

4,003 前年同四半期比9.6%増



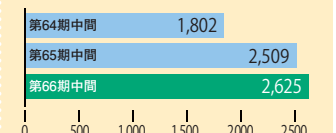
経常利益

3,933 前年同四半期比4.8%増



四半期純利益

2,625 前年同四半期比4.6%増



特集 ①

食品スーパーマーケット

「IKOCCA エブリイ駅家店」様の 冷凍冷蔵機器をフクシマがコーディネート。



売場のショーケースからバックヤード機器のプランニングまでトータルで請け負う、フクシマの『ストア事業』。当社の中核を成す事業であり、スーパーマーケット、百貨店、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどを中心に展開しています。安全・安心そして快適に使用できる店舗づくりをサポートする事業です。

今回は、全店初のコーナーが揃う「IKOCCA エブリイ駅家店」様の導入事例をご紹介します。



IKOCCA エブリイ駅家店

所在地:広島県福山市駅家町上山守450-5

売場面積:1,915㎡

開店日:2016年6月

売場面積は同社最大、全店初の取り組みも。
エブリイ様の新たな挑戦をサポート。

水産コーナー、畜産コーナーなど、 店内すべての冷凍冷蔵機器を担当。

エブリイ様は、広島県福山市を本拠とする企業。広島県下を中心に、ユニークな食品スーパーマーケットを展開しています。「IKOCCA(いこっか) エブリイ駅家店」様は、同社最大面積を誇る店舗。①新鮮な食材に「出会える」②生産者の思いに「触れる」③食材の魅力を「知る」④掘り出し物を「発見する」⑤ゆったり



食事を「楽しむ」—この5つの感動を味わうことができます。福島工業では、水産・畜産コーナーやイートインなど店内すべての冷凍冷蔵機器を納品しました。



新たな価値を生み出す、 IKOCCAのチャレンジをサポート。

店舗初の取り組みとして、ピザ釜で本格ピッツアを焼き上げ、新鮮な野菜で本格バケットサンドを作る、ピッツア&Sandwich「Pizzary(ピザリイ)」。コーヒー豆の鮮度や品質にこだわる地元の人気コーヒー専門店、焙煎珈琲専門店「SUIREN+」。まだまだ知られていないこだわりの製品にスポットを当てる、日本の銘品・世界の逸品を集めた「発掘のKURA(くら)」。“人と人がつながる、おいしいでつながる”をコンセプトに作られた88席の快適空間、

イートインコーナー 食べてIKOCCA「en(えん)」。

これら4つのコーナーを新設。お客様との新たなつながりを生み出します。



特集 2

ブランド豚を生産する

「福まる農場」様の6次産業化を フクシマがサポート。



第1次産業の振興や地域活性化を図る方策として、農林水産省は6次産業化を推進。6次産業化とは、第1次産業である農林水産業が加工食品の製造・販売や観光農園など第2次産業や第3次産業にまで踏み込むことです。フクシマは食の安全・安心技術で6次産業化をサポートしています。今回は、6次産業化の導入事例である「福まる農場」様をご紹介します。



農業生産法人 株式会社福まる農場

所在地: 沖縄県島尻郡南風原町宮平585

建築面積: 456.9㎡

稼働日: 〈新豚舎〉2015年6月、〈加工工場〉2016年5月

メーカーとして、6次産業化プランナーとして、提案から納品まで一貫したサービスを提供。

こだわりのブランド豚“キビまる豚”に ふさわしい加工工場を提案。

沖縄でブランド豚“キビまる豚”の養豚事業から精肉加工、販売まで一貫して行う「福まる農場」様。“キビまる豚”は、上質な香りと甘み、食感を合わせ持つ豚で、国内外から高い評価を得ています。急増する出荷量に対応するため、豚舎や食肉加工場の新設に踏み切りました。



6次産業推進部があること、補助金に関するお手伝いができること、さらに冷凍冷蔵庫設備と生産加工機械をトータルコーディネート、納入できることなどを評価していただき、すべてをご提案させていただくことになりました。工場の施工にあたっては、フクシマグループのFSP社製断熱パネルや作業場空調、プレハブ冷凍冷蔵庫など、補助金を受けた機械や衛生用具なども納入しました。また、スタッフの動きやすさやコンベアの動線にも配慮。



「決められた土地の形・面積のなかで、動線と衛生面両方をクリアできたのは、福島工業のおかげです。“スピード・思いやり・技術”の3点が揃っている」と評価していただきました。



海外進出も見据え、HACCPを 導入できる工場を設計。

現在、新設した工場ではハムとソーセージを1種類ずつ加工しています。「新商品の開発も順調に進んでおり、次はそれらを大量生産する段階。国内外へ向けて“キビまる豚”を精力的に発信していきたい」。加工工場を作る際には「HACCP（国際的に認められた食品衛生管理手法）を導入できる工場にしてほしい」というご要望をいただき、設計に反映しました。福島工業はこれからもメーカーとして、6次産業プランナーとして、様々な立場からお客様の挑戦をサポートしていきます。

トピックス~NEWS~

新製品

省エネ性がアップした、 ブラストチラー/ショックフリーザー QXF-2シリーズ

すっきりした外装デザインに変更した、ショックフリーザーQXF-2シリーズ。

扉や機械室パネルは、汚れが付きにくく、拭き取りやすいクリアコーティング加工を採用しました。

冷却スピードと省エネ性がアップしています。

また、ショックフリーザー20型・24型・40型は、
小型ブラストチラーと操作パネルを統一し、
使い勝手が向上。冷却スピードもアップしています。



ショックフリーザー20型
QXF-020SFKS



ショックフリーザーQXF-2シリーズ
QXF-012SFLV2

新製品

福島工業初、 フレークアイス製氷機

溶けやすく使いやすい、小さな粒状のフレーク
アイスが作れます。扉ハンドルは使いやすく、
ほこりや水滴が侵入しにくい構造で衛生的。
汚れが付きにくく、ふき取りやすい、クリア
コーティング加工を採用しています。



FIC-A120FT

新製品

小売業、外食産業にオススメ、 急速凍結庫FFB-7シリーズ

5面一体発泡や、扉パッキンの3重
構造により、断熱性がアップ。ドアの
内側に立ち上がりをつくることで、
冷気もれにくく省エネです。消費
電力量は従来機種に比較して約
28%ダウンとなっています。



FFB-092FMD7-T

展示会

おいしい技術をアップデート。

国際食品工業展 FOOMA JAPAN 2016

2016年6月7日(火)~10日(金) 東京ビッグサイト

今年もグループ4社で共同出展しました。

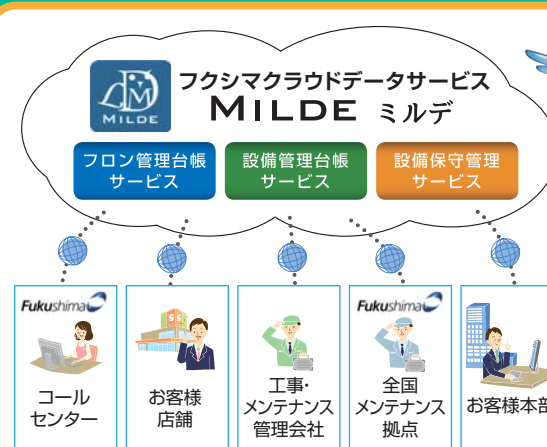
「先端技術で新たな挑戦 環境と食の未来を支えるフクシマグループ」をテーマに、
トンネルフリーザーからブラストチラーのラインナップ、
ショーケースなどを展示しました。



新サービス

クラウドデータサービス 『MILDE(ミルデ)』スタート

フロン排出抑制法対応、設備管理、
機器保守、省エネ・節電といった、店舗
が抱えるお悩みに応える新サービス
『MILDE』。全店舗を管理し、常に最適
な販売環境を維持するためのフクシマ
独自のクラウドデータサービスが
スタートします。



展示会

フードシステム ソリューション2016

2016年9月28日(水)~30日(金) 東京ビッグサイト

中食・外食や給食関連のお客様に向けて新製品
などを展示しました。また、ニュークックチルの
実演では、より効率的でおいしい食事の提供方
法について紹介しました。



東京都営地下鉄にて 吊り革広告を展開

東京都営地下鉄4線(浅草線・
大江戸線・新宿線・三田線)の各
1車両に吊り革広告を掲載して
います。ぜひ探してください。

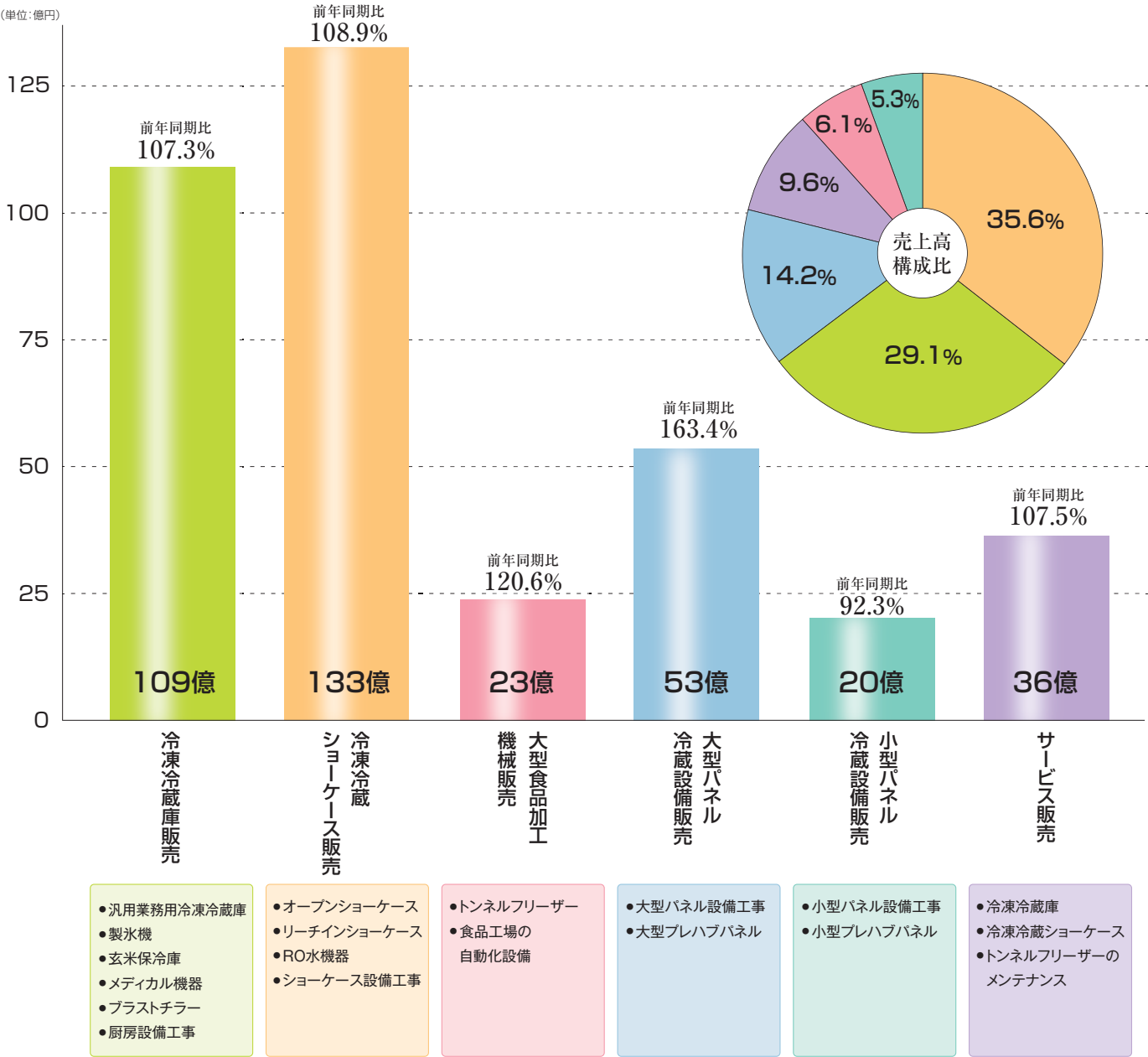




事業別売上高



(単位:億円)



連結財務諸表



連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成28年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	46,975,623	48,629,725
固定資産	20,360,074	19,922,294
有形固定資産	10,995,217	11,456,634
無形固定資産	191,381	178,898
投資その他の資産	9,173,474	8,286,760
資産合計	67,335,697	68,552,020

Point.1

負債の部		
流動負債	28,220,622	27,937,028
固定負債	3,072,952	2,662,650
負債合計	31,293,575	30,599,678

純資産の部		
株主資本	33,565,315	35,589,590
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	3,168,379	3,168,379
利益剰余金	30,848,359	32,872,825
自己株式	△3,211,617	△3,211,807
その他の包括利益累計額	2,473,224	2,352,930
その他有価証券評価差額金	2,830,254	2,684,458
為替換算調整勘定	121,385	△75,053
退職給付に係る調整累計額	△478,416	△256,474
非支配株主持分	3,582	9,820
純資産合計	36,042,121	37,952,341
負債純資産合計	67,335,697	68,552,020

Point.1

商品及び製品並びに仕掛品が増加したことにより流動資産は16億5千4百万円増加いたしました。投資その他の資産「その他」に含まれる長期預金が増加したことにより固定資産は4億3千7百万円増加いたしました。その結果、資産合計は12億1千6百万円の増加となりました。

Point.2

低温倉庫、食品加工工場向けの大型パネル冷蔵設備の売上が大きく伸びたことや、コンビニ業界再編により冷凍冷蔵ショーケース需要が増加したこと、売上高は前年同四半期に比べ43億8千万円の増加となりました。

Point.3

税金等調整前四半期純利益を39億3千3百万円計上し、主に投資活動及び財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ7億4千6百万円減少し、196億3千5百万円となりました。

連結損益計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	33,239,185	37,619,255
売上原価	24,415,562	27,717,075
売上総利益	8,823,622	9,902,180
販売費及び一般管理費	5,170,768	5,898,712
営業利益	3,652,853	4,003,467
営業外収益	213,613	195,951
営業外費用	111,931	265,521
経常利益	3,754,535	3,933,896
税金等調整前四半期純利益	3,754,535	3,933,896
法人税、住民税及び事業税	1,233,632	1,414,691
法人税等調整額	22,161	△112,638
法人税等合計	1,255,793	1,302,052
非支配株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失	△10,811	6,264
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,509,553	2,625,580

Point.2

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,601,364	599,117
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,313,940	△212,030
財務活動による キャッシュ・フロー	△768,520	△831,470
現金及び 現金同等物に係る換算差額	15,330	△301,907
現金及び 現金同等物の増減額	△1,465,765	△746,291
現金及び 現金同等物の期首残高	19,956,684	20,381,498
現金及び 現金同等物の四半期末残高	18,490,918	19,635,207

Point.3

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Information

会社概要		
商 号	福島工業株式会社	
本 社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11	
設 立	昭和26年12月8日	
資 本 金	27億6千万円	
従業員数	連結:1,558名 単体:1,160名（準社員除く）2016年3月現在	

ネットワーク		
支 社	東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)	
支 店	北海道、東北(仙台)、関東(さいたま)、千葉、横浜、静岡、甲信越(新潟)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、阪和(南大阪)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、西南九州(長崎)、沖縄	
営 業 所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、宇都宮、高崎、水戸、つくば、西東京、船橋、厚木、長野、松本、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、大分、佐世保、熊本、宮崎、延岡、鹿児島、石垣	
サービスセンター	関東(西船橋)、関西(大阪)	
工 場	滋賀(水口)、岡山	
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジア 海外工場:北京合弁工場、タイ工場	

役員			
代表取締役社長	福島 裕	監 査 役	竹内 博史
取締役副社長	福島 亮	監 査 役	濱 政夫
専務取締役	福島 豪	監 査 役	西井 弘明
常務取締役	片山 充		
常務取締役	長尾 健二		
取 締 役	水谷 浩三		
取 締 役	藤川 隆夫		
取 締 役	吉年 慶一		

株式のご案内	
決 算 日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 掲 載 方 法	当社の公告はホームページ http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 事 務 取 扱 場 所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。
福島工業のホームページを、ぜひご覧ください！
<http://www.fukusima.co.jp/>

